

但馬で地域資源を 学びませんか？

生き物を学ぶ

エコ



人間社会を学ぶ

ソシオ



大地を学ぶ

ジオ



兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科
豊岡ジオ・コウノトリキャンパス



UNIVERSITY OF HYOGO

UNIVERSITY OF HYOGO

TOYOOKA GEO & KOUNOTORI CAMPUS



コウノトリ舞う、山陰海岸ジオパークの地で 地域資源マネジメントを学びませんか？

地域資源マネジメント研究科は、「地域に内在する自然・社会・文化のつながりを科学的に解明し本質的に理解する素養を身につけ、地域資源の発掘・保全・活用を実行できる人材の育成」を目的としています。全国でも貴重な地域資源（コウノトリ・ジオパーク等）が存在する兵庫県但馬地域を主なフィールドとし、2014年にスタートしました。

各研究領域の紹介

GEO

【ジオ分野】

ジオ研究領域の「ジオ“geo”」とは「地球の」という意味です。大地と文化の関係について地形や地質の視点からひも解く研究をしています。研究を通じて、地域産業や教育の分野における新しい価値の創出や防災を支援します。

ECO

【エコ分野】

再導入されたコウノトリの野生復帰に向けた、様々な専門分野の研究手法を取り入れた総合的な研究や、その生息場である田園に生息・生育する動植物の生態学的な研究を行い、その理論に基づく実践スキルを開発します。

SOCIO

【ソシオ分野】

大地・自然・人間の関係の過去・現在・未来について、人文社会科学（歴史考古学・社会学・地理学）の立場から研究するとともに、私たちの社会を支えるさまざまな地域資源の保全や活用を考えます。

就職先例

- 地方自治体
（都道府県、市区町村）
- 山陰海岸ジオパーク
推進協議会専門員
- 公益財団法人
日本野鳥の会
- 環境コンサルタント会社
など
- 国公立大学（教員）

社会人も学びやすい仕組み

【長期履修制度】

職業を有している等の事情により標準修業年限では教育課程の履修が困難な場合、事情に応じて標準修業年限を超えて（前期課程：3年以上4年まで、後期課程：4年以上6年まで）、計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位を取得することができる長期履修制度を設けています。授業料の総額は一般履修と同じです。

【授業時間割】

木曜～日曜に開講。主な授業を木金土に開講し、毎年、開講曜日をずらします。このことにより、長期履修制度を活用している社会人学生が、土日に通学するだけで、全科目を履修できるようにしています。

4年間、土日に
通うだけでも
修了可能！

入学試験

C日程・第2回入試

試験日

2026.3/1 (日)

願書受付

2/4 (水)～2/17 (火)

試験科目は小論文と口述試験です。 ※英語の試験はありません。

大学院在学生の研究紹介

地域資源マネジメント研究科では、様々な地域の課題に取り組む博士前期・後期課程の学生が在籍しています。本号では大学院生の研究や進学理由を紹介します。

ジオ研究領域



山本 理恵

Rie Yamamoto

出身

兵庫県神戸市

研究内容

地形とその成り立ちを学ぶことは地球の営みを知ることに繋がります。令和6年能登半島地震に伴ってできたような海岸段丘は、その成因を学ぶためのモデル実験がないため、実験装置の開発とその効果検証を行います。

調査方法

中学生にとって理解が難しい海岸段丘のモデル実験教材の開発に取り組み、地形理解の向上をめざしています。

進学理由

理科教師の先輩たちが仕事をしながら大学院で学んでいたのので、私も挑戦しようと思いました。私は地形や地質を様々な年代の方にわかりやすく解説ができる人になりたいと思っています。



海岸段丘モデル実験（試作）

GEO Study field

エコ研究領域



阿部 穂乃香

Honoka Abe

出身

東京都品川区

研究内容

河川の氾濫原水域は水生生物の重要な生息場ですが、改修工事などの影響で減少しています。災害対策として行う河道掘削で創出した水域の生息場としての効果を明らかにし、自然と防災を両立する川づくりを目指します。

調査方法

河川における河道掘削によってできた水域において、主に水生生物の捕獲や物理環境の測定を行います。

進学理由

学部時代に河川の生息場が改修工事などにより改変されていることを知り、自然と災害対策を両立する河川工法に興味を持ちました。現在の指導教員が応用生態工学の観点からの研究をされており、進学を決意しました。



水生生物を採集している様子

ECO Study field

ソシオ研究領域



田上 敦士

Atsushi Tagami

出身

兵庫県豊岡市

研究内容

利用者の減少によって存続が危ぶむ声も出ているJR山陰本線（城崎温泉～浜坂間）を研究対象として、住民のニーズを反映した持続可能な公共交通の将来像をさまざまな角度から研究しています。

調査方法

竹野・香住・浜坂の各駅周辺の住民への意識調査および、全国各地での鉄道事業再構築の取組みの調査等

進学理由

50代半ばで但馬に戻り、さらに深く地元のことを学びたいと思って入学しました。時期を同じくしてJRのいわゆる不採算路線の問題が浮上、鉄道を愛する者としてこのテーマに真剣に取り組むたいと考え研究を始めました。



山陰本線を走るローカル列車

SOCIO Study field

UNIVERSITY OF HYOGO

RESEARCH PRESENTATION

但馬の地域資源を考える。

(RRM大学院生の研究成果)

本研究科が開設されて11年となりました。現在、20代から70代の大学院生が在籍し、但馬各地で調査に励み、研究に打ち込んでいます。

地域資源マネジメント学の研究課題は、コウノトリの野生復帰やジオパークにとどまらず、歴史や地域づくりなど人の営みを広く含んでいます。

今回の研究報告会は、大学院生10名の研究成果発表を予定しており、今後の但馬の地域資源マネジメントのあり方を展望します。

2026.2/21 (土曜日) 13:00-17:00

PROGRAM

プログラム

13:00 - 13:05

開会

発表・質疑応答

- 小坂 祐司 パス停から読み解く路線バスとデマンドバスの違い
- 田上 敦士 線路は続くよいつまでも？山陰本線の未来
- 阿部穂乃香 川の掘削によりつくる水生生物の生息場
- 石井ひかる 産業遺産を活かす人々—生野銀山と町並みの魅力
- 伊藤 蓮哉 はじめませんか？水田ビオトープ“間”魚道
- 榎村 彩羽 名工「川六」作の可愛い狛犬の故郷を探せ！
- 濱田陸太郎 川辺でゴミシ類やクモ類が棲む場所は？
- 森 蒼葉 全国のコウノトリは何を食べているのか
- 山本 瑞真 アベサンショウウオの生息地はどんな場所か？
- 渡邊 黎也 休耕田ビオトープで水生昆虫類を守るには？

(10名)

※当日の発表の順番ではありません ※当日のタイトルは異なる場合があります

13:05 - 17:00

17:00

閉会

参加費

無料 ※参加希望者多数の場合は、先着100名までとします。

申込締切

2月17日(火) ※ただし、定員に満たない場合は当日まで受け付けます。

開催場所

出石永楽館

〒668-0234
兵庫県豊岡市出石町柳17-2
TEL.0796-52-5300



駐車場案内

駐車場は「西の丸駐車場」をご利用ください。会場受付で駐車場の利用をお申し出ください。スタッフが無料駐車券をお渡しします。※西の丸駐車場以外では駐車券の配布はありません。有料になります。※西の丸駐車場から会場までは徒歩5分程度です。

申込方法

下記のQRコードよりお申し込みください。また、電話・FAXでもお申し込み頂けます。



電話 0796-34-6079

FAX 0796-22-5200

※氏名、住所、連絡先電話番号、車で来られる方は、「西の丸駐車場利用希望」と明記してください。

兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科RRM

〒668-0814 豊岡市祥雲寺128(兵庫県立コウノトリの郷公園内)
兵庫県立大学豊岡ジオ・コウノトリキャンパス

※RRMとは、「Regional Resource Management」の略です。

TEL. 0796-34-6079

FAX. 0796-22-5200

E-Mail: rrm@ofc.u-hyogo.ac.jp

<https://www.u-hyogo.ac.jp/rrm/>

